

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			各目的別に居室を確保するなど構造化を図っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準以上の配置をしており活動や行事などに応じて職員数を増やしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			事業所内はすべてバリアフリーとなっています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			PDCAサイクルを意識するように、目標と結果、振り返りは各業務行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			法人内で2年に1回サービス満足度調査を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			法人ホームページで公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	外部評価までは至っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			法人内研修を定期的に行い、勤続年数や職階に応じて外部研修への参加も積極的に行っています。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者との面談や日々の子どもの観察の中でニーズと課題を抽出し個別支援計画の中に反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントを参考に事業所独自のツールを使用しており、必要に応じてご家族から医療機関の結果等提供してもらっています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			毎月のプログラムに関しては、主担当の職員を中心に立案を話し合っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			毎月1か月の活動予定表を作成し、運動や創作活動、クッキングなど季節に応じた活動を取り入れるよう工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休暇前には、個別課題を設け達成できるように支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別、集団それぞれの課題を抽出し、年間計画に基づいて月計画、週計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			毎日必ずミーティングを行い、送迎や動向、活動、役割分担など情報共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			活動後には振り返りを行い、支援終了後には各こどもの様子などの気づいた点や連絡報告事項を話し合い引継ぎノートに書き留めることで居ない職員に対しても伝達できるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			利用者別に支援記録を取り、児童発達支援管理責任者が正しく記録できているか確認することで、支援の検証改善につなげています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画に基づきモニタリングを実施し利用者の状況を鑑み、必要に応じて見直しの判断を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則にある将来の自立に向けた取組や季節に応じた創作活動、スノーズレンなどの余暇活動等複数組み合わせています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が主として参画しています。また子どもの状況に応じて、現場職員も参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年間計画・行事等の交換まで至っていないが、送迎時や参観、担当者会議など通じて学校と情報共有を図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な子どもの体制は整備していません。今後の検討を考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の上表共有と相互理解に努めているか	○			引継ぎ資料「安心して学校生活をおくるために」を保護者から提供してもらい相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業する前に担当者会議に参加することで引継ぎを行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達障害支援アドバイザー派遣事業などの助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			地域の公園やお祭りなどに行ったりしていますが、現在放課後児童クラブと併行利用している子どもはいません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			津幡町自立支援協議会子ども部会等に参加し相互協力する関係作りに努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話連絡により子どもの様子を伝えていきます。また半年に1回、状況に応じて面談を行うなど共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	送迎時や面談の中で子どもの対応については話をしていますがペアレント・トレーニング等の支援には至っていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用を始める前に、契約書・重要事項説明書の説明を通して、支援内容、利用料などの説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、保護者からの電話連絡による相談や送迎、面談の中で相談を受けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	年に1回茶話会や親睦会を開催することによって交流を図っていますが、父母の会や保護者会等の会は設けていません。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決に関しては苦情解決責任者・担当者を設けており、重要事項説明書に記載し周知に努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人広報誌並びにホームページ等にて適宜情報の発信また詳細についてはこだま通信を発行しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			業務チェックリストを定期的に行うことで徹底するよう努めています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障害特性に応じて、写真や文字の大きさ、ひらがな、ルビなど個別に分かりやすく伝えています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			法人の行事としてやまびこ会のもちつき交流や実習生やボランティアの受け入れを行っています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルの策定、必要に応じた見直しを行い、関連内容の取組みについては通信等文書にて発信しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月防災教育、避難訓練等実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			新任職員研修並びに法人として年1回の虐待防止研修として研修の機会を確保しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			「身体拘束を行わない」を前提に支援の向上に努めています。対象の子どもが居た場合には保護者との話し合いを行い、計画に記載するようにしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者を通じてアレルギーの有無を行い医師の指示の基制限食、除去食を対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人内に事故対策委員会を設け、ヒヤリハットの事例を基に職員会議などで毎月共有しています。